

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第30週 (7/20-7/26) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		30週	29週	28週	27週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	7/20-7/26	7/13-7/19	7/6-7/12	6/29-7/5	7/13-7/19
			30週	29週	28週	27週	29週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		1	0	0	0	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	3	4	10	221
	感染性胃腸炎		27	44	36	30	220
	水痘		0	4	4	2	12
	手足口病		1	0	0	6	3
	伝染性紅斑		0	0	0	1	1
	突発性発しん		15	17	20	15	72
	ヘルパンギーナ		1	0	1	0	8
	流行性耳下腺炎		1	0	0	1	5
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		0	1	1	0	4
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	1
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患(39件)

※新型コロナウイルス感染症34件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	病原体等の検出	腸管出血性大腸菌感染症	男性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認
結核	女性	50歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	男女	10歳代~60歳代	病原体遺伝子の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	-	-	-	-
結核	女性	60歳代	IGRA検査				

・第30週は、結核4件(84)、腸管出血性大腸菌感染症1件(8)、新型コロナウイルス感染症34件(217)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第30週のコメント

過去10年の同時期と比べると、突発性発しんがやや多めの他は全て平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第30週は前週に引き続き発生届出件数が30件を上回り34件となり、合計は217件となりました(図1-1)。

緊急事態宣言解除(5月25日:第22週)の前後で年齢構成を比較すると、解除前(届出件数109)では30歳代以下が32.1%と3割程度であったことに対し、解除後(届出件数108)では増加し66.7%と6割以上を占め、対して40歳代以上では減少しています。男女別では、解除の前後共に男性が多くなっています。年齢中央値は、解除前では全体が47.0歳、男性が51.0歳、女性が42.5歳でしたが、解除後は全体が29.0歳、男性が27.0歳、女性が29.0歳と若い年代に下がってきています。(図1-2、表1-1-1及び表1-1-2)。

なお、全期間では男性126件(58.1%)、女性91件(41.9%)で男性が多く、年齢階級別では20歳代(28.6%:62名)、50歳代(18.0%:39名)、40歳代(14.7%:32名)の順で多くなっています(図1-3及び表1-2)。

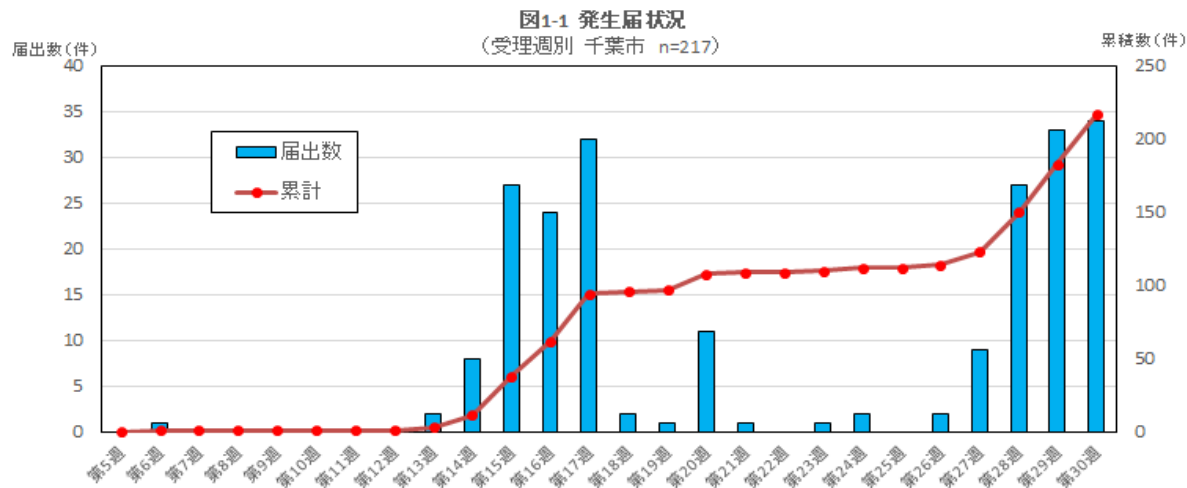
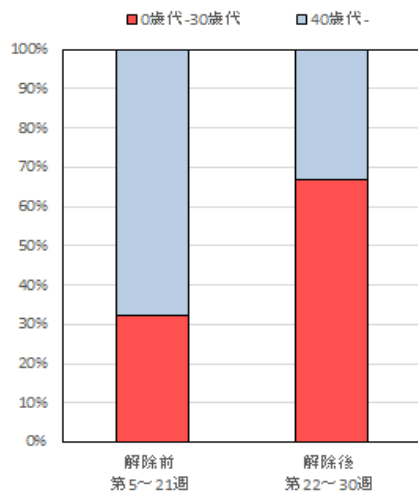


図1-2 年齢構成の推移



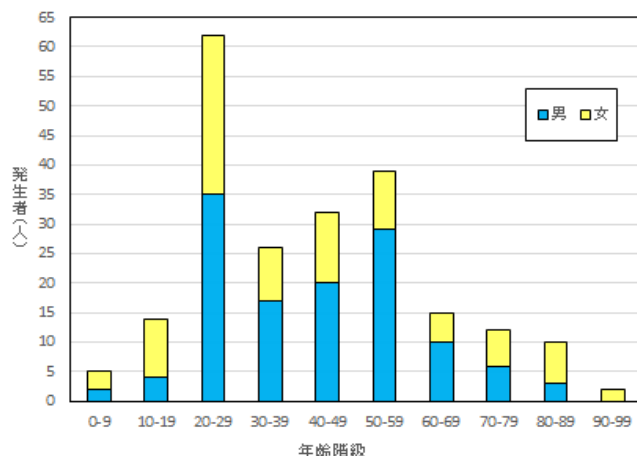
中央値	51.0	42.5	47.0	
年齢層	男	女	計	
0-39	12	23	35	32.1%
40-	49	25	74	67.9%
計	61	48	109	100.0%
	56.0%	44.0%	100.0%	

表1-1-1 性別及び年齢階級別
(緊急事態宣言解除前:第5週~第21週)

中央値	29.0	27.0	29.0	
年齢層	男	女	計	
0-39	46	26	72	66.7%
40-	19	17	36	33.3%
計	65	43	108	100.0%
	60.2%	39.8%	100.0%	

表1-1-2 性別及び年齢階級別
(緊急事態宣言解除後:第22週~第30週)

図1-3 発生届状況
(性別及び年齢階級別 千葉市 n=217)



中央値	42.0	36.0	40.0	
年齢層	男	女	計	
0-9	2	3	5	2.3%
10-19	4	10	14	6.5%
20-29	35	27	62	28.6%
30-39	17	9	26	12.0%
40-49	20	12	32	14.7%
50-59	29	10	39	18.0%
60-69	10	5	15	6.9%
70-79	6	6	12	5.5%
80-89	3	7	10	4.6%
90-99	0	2	2	0.9%
100-	0	0	0	0.0%
計	126	91	217	100.0%
	58.1%	41.9%	100.0%	

表1-2 性別及び年齢階級別
(全期間:第5週~第30週)

・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第30週（2020年7月26日時点）までに6212例（検体数6405）について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は5952例（うち陰性化確認等259例）となっており、その他クルーズ船関連事例191例（うち陰性化確認126例）、その他陰性化確認等69例の検査を実施しました。

陰性化確認等259例を除いた市中感染・輸入例疑い事例5693例（検体数5835）については、陽性は215例（陽性率：3.8%）でした（図2-1）。陽性率について、年齢階級別では20歳代（5.8%）、50歳代（5.3%）、10歳代（4.0%）の順で多くなっています（図2-2及び表2-1）。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

（週別 千葉市：7月26日現在 n=5693）

（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）

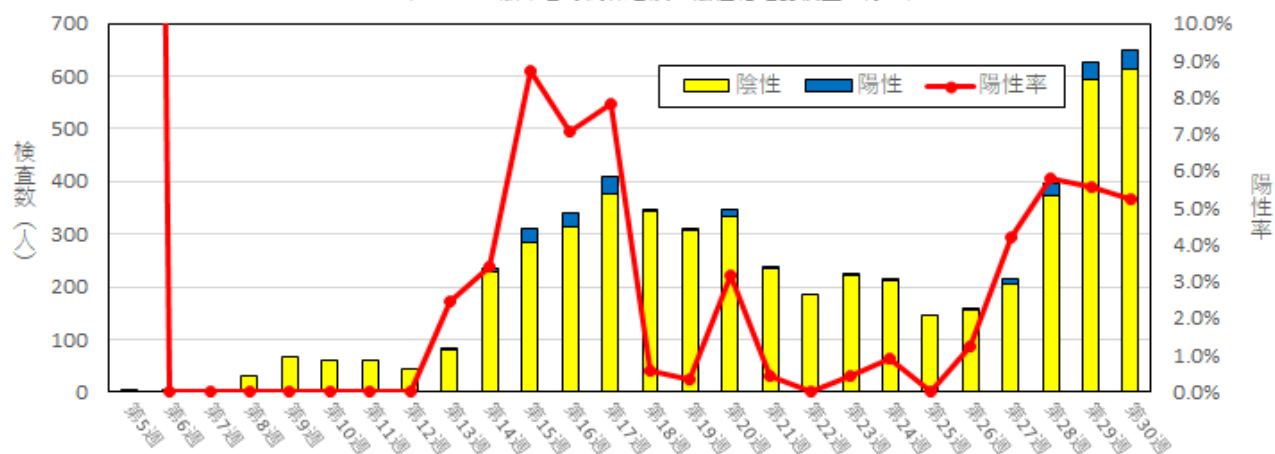
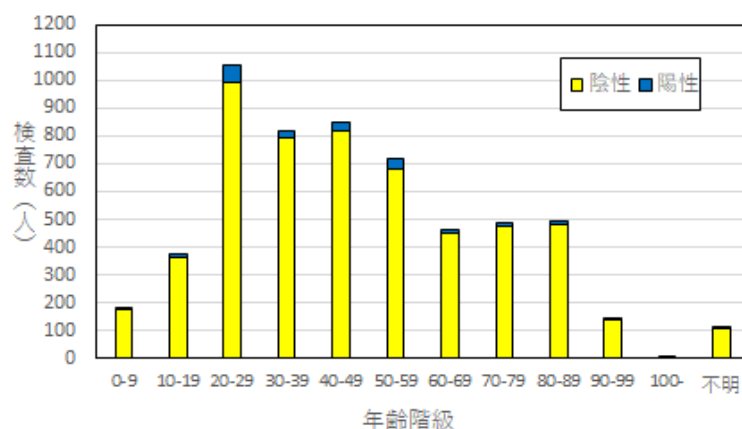


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例

PCR検査状況

（年齢階級別 千葉市：7月26日現在 n=5693）

（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	5	178	183	2.7%
10-19	15	360	375	4.0%
20-29	61	993	1054	5.8%
30-39	25	794	819	3.1%
40-49	33	816	849	3.9%
50-59	38	679	717	5.3%
60-69	14	447	461	3.0%
70-79	12	475	487	2.5%
80-89	9	483	492	1.8%
90-99	2	137	139	1.4%
100-	0	7	7	0.0%
不明	1	109	110	0.9%
計	215	5478	5693	3.8%

表2 年齢階級別の検査状況